

8.故障かなと思ったら

まず、下記事項をご確認ください。本器は絶対に分解しないでください。修理は販売店または弊社にご相談ください。

症 状	点検箇所	対処方法
電気が流れない	電源スイッチと作動モードを確認ください。	・電源スイッチをオンにしても、作動モード設定によっては作動しない場合があります（夜作動のみに設定すると明るい場所では待機状態になります。4ページ参照）。
	電源、電気柵ともに正しく接続されていますか？	・2～3ページの「設置方法」を参照し、正しく接続されているか確認してください。 ・ケーブル先端のワニグチクリップが、電気柵ワイヤーやアースをきちんと挟んでいるか確認してください。
ショックが弱い	バッテリー残量を確認してください。	・セーブモードに設定している場合、バッテリー残量が低下すると、出力も低下します（4ページ参照）。
	漏電箇所はありませんか？	・5ページの「起こりやすい漏電箇所」を参考に、柵の見回りをして、問題を解消してください。
	アースが不足していませんか？	・アースが十分でない場合、電気柵の効果が軽減してしまいます。アースはすべて地中へ打ち込んでください。 ・砂利、砂、堆肥場ではアース不良となりやすいため、アースを追加するか、湿った場所に移動してください。 ・アース確認方法に沿って、アースを確認してください（総合カタログ「アース」のページを参照ください）。
	柵の延長距離が実働推奨距離に合っていますか？	・各本器がもつエネルギー量によって、最大延長距離が決まっています。6ページ「製品データ」の実働推奨距離あるいは高負荷時延長距離を参考に、余裕のある距離で使用してください。
すぐなくなる バッテリーが	バッテリーがすぐなくなる。	・ソーラーパネルが樹木や建物の陰に隠れていませんか？ パネルの一部分が隠れても充電されません。最大限の日照を確保できる場所に設置し直してください。 ・ソーラーパネルが汚れていませんか？ ガラスクリーナーや水に薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布でパネルを定期的に拭いてください。
した 凄 蓄	本器が正常に動作しない。	・修理が必要ですので、販売店または弊社へご相談ください。

上記のように、電源、漏電、接続を確認した上でも、正常に動作しない場合、まれに本器自体の故障も考えられます。電圧テスターをお持ちの方は、次の手順で本器自体の確認を行ってください。

【本器自体の点検方法】

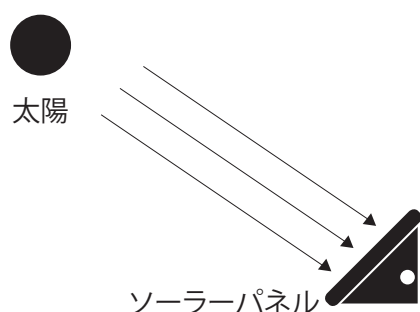
①本器と柵・アースすべての接続をはずします。②テスターのアース（地中）へつなぐケーブルを本器のアース接続端子へ、フェンスへつなぐケーブル（フック）をフェンス出力端子へつなぎ、本器を作動させて電圧を測ります。③6ページの各器種の最大電圧に近い数値が出ていれば、本器は正常です。

9.よくある質問

Q.

バッテリーは、補充電しない(太陽が出ていない)状態でどれぐらい持ちますか？

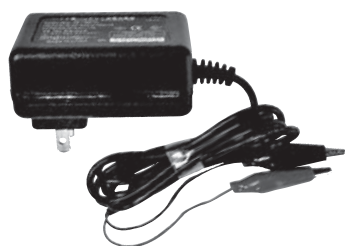
SXS・SXJ専用バッテリー充電器を持っていない場合、どのように充電しますか？



本体を開けたら、フタがしまらない。

日中は普通に作動するのに、夜になると停止してしまう。

バッテリーの消耗が早い(すぐにバッテリーの充電レベルが下がる)。



SXシリーズ専用バッテリー充電器

A.

フル充電されたバッテリーで、**SXJは約3週間、SXSは約2週間**です。バッテリーの充電状態によるものなので、あくまでもめやすです。

電源を切った状態で、ソーラーパネルを太陽光に充てておくと充電できます。フル充電にするには約2週間かかる場合もあります。

ただし、バッテリーを長持ちさせるためには、シーズンの使い始めと終わり、また6ヶ月毎に、SXシリーズ専用バッテリー充電器(別売)でフル充電することをおすすめします。

ソーラーパネル面を上にして、接続ケーブルが挟まらないようにし、カチッと音がするまでしずかにフタを閉じます。パネル面を下にするときちんと閉まりません。

本器内にある接続ケーブルはバッテリーとつながりましたか？ 出荷時のままだと、ソーラーパネルとバッテリーが接続されていないので、夜間、バッテリー電源を使えず停止状態になります(2ページ参照)。

9ページ掲載のソーラーパネルの日照条件やパネル自体の汚れ、漏電などの柵の問題を解消しても、状態が改善されない場合、長期間使用しない期間の保管状態、使用状況等によって、バッテリー自体が寿命を迎えている可能性があります。寿命であると、いくらバッテリー充電器でフル充電にしてもすぐに消耗してしまいます。SXシリーズ専用バッテリー(別売)を交換してください。

※専用バッテリーの寿命は3年がめやすです。